

第216回 教育研究評議会 要 録

日 時 令和5年2月15日(水) 13時00分～15時00分
場 所 遠隔会議：仮第一会議室、各研究室等
出席者 榊理事長、今岡学長、榎本理事、藤原副学長、久保副学長、西村副学長、黒子副学長、
遊佐副学長、中山文学部長、山内理学部長、中山生活環境学部長、藤田工学部長、
渡邊人間文化総合科学研究科長、鈴木広光評議員、酒井評議員、柳沢評議員、鈴木則子評議員、
高田評議員、柳澤評議員、吉田哲也評議員
欠席者 吉田容子評議員
列席者 三野監事、大久保監事、三谷監事、林総務課長、望月企画課長、川村人事課長、幸田財務課長、
太田施設課課長補佐、横井情報課長/学術情報課長、濱田国際課長、米谷研究協力課長、
鱸学務課長、桑原学生生活課長、早川入試課長、岩阪監査室長
議 長 今岡学長

議事に先立ち、前回の記録を確認。

I 審議事項

1. 諸規程等の制定等について

(1) 奈良女子大学福栄鋼材奨学金取扱規程の制定について

学生生活課長から、資料1により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、令和5年4月1日付けで施行することとした。

高田評議員から、寄附の経緯について質問があり、学生生活課長から、今回寄附があった企業には本学卒業生が就職している実績があり、企業側からは企業名を学生に知ってもらいたいこと、優秀な学生を支援したいという意図での支援であるとの回答があった。

(2) 奈良教育大学と奈良女子大学との単位互換に関する取扱要項の制定について

学務課長から資料2及び参考資料1により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、令和5年4月1日付けで施行することとした。

(3) 奈良県内大学間単位互換協定に基づく受入れ学生派遣学生に関する取扱要項の一部改正について

学務課長から、資料3により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、令和5年4月1日付けで施行することとした。

(4) 奈良女子大学自己点検・評価の手順に関する規程の一部改正について

企画課長から、資料16により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、本日付けで施行し、令和4年4月1日付けで適用することとした。

2. 奈良女子大学ソニー連携教育共同研究所規程及び奈良女子大学ソニー連携教育共同研究所における教育研究に関する協定書について

久保副学長から、資料4-1～4-2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

高田評議員から、研究所の詳細について質問があり、久保副学長から、研究所はソニーからの寄附により運営されていくこと、研究所運営委員会の構成員はソニーグループからの所員を想定していることの説明があった。

3. 武庫川女子大学と奈良女子大学との包括連携協定書の締結について

久保副学長から、資料5により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

4. その他
なし

II 報告事項

1. 第19回役員会について
学長から、資料6により報告があった。
2. 次期教育研究評議会評議員について
学長から、次期教育研究評議会評議員について、部局選出の評議員に関し、部局からの選出を受け、学長が以下のとおり指名するとの報告があった。
 - ・次期文学部選出評議員：鈴木 広光教授
 - ・次期理学部選出評議員：酒井 敦教授，柳沢 卓教授
 - ・次期生活環境学部選出評議員：鈴木 則子教授，松本 尚教授
 - ・次期人間文化総合科学研究科選出評議員：衣川 健一教授，高田 将志教授
3. 令和5年度予算編成方針について
財務課長から、資料7により報告があった。
高田評議員から、時間外労働の縮減への方策について質問があり、榎本理事から、業務内容の見直し、事務局体制の見直し、DX化の推進を考えている旨の回答があった。
4. 国大協近畿地区支部会議について
榎本理事から、資料8により報告があった。
5. 機構における連携の取組状況について
榎本理事から、資料9-1～9-3により報告があった。
高田評議員から、奈良カレッジズ包括協定締結について、榎原考古学研究所も加えていただきたいとの要望があり、榎本理事から、榎原考古学研究所も将来的には視野に入れているが、まずは、現在調整中の機関との締結を進めていきたい旨の説明があった。
6. 令和5年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について
企画課長から、資料10により報告があった。
7. 第4期中期計画及び評価指標の実施状況の確認・検証の実施について
藤原副学長から、資料11及び参考資料2により報告があった。
8. 令和4年度分の内部質保証モニタリングの実施について
企画課長から、資料12により報告があった。
9. 生活工学共同専攻に係る教育研究活動等の状況を示す報告書（案）について
企画課長から、資料13により報告があった。
10. 中期目標期間大学評価スケジュールについて
企画課長から、資料14により報告があった。
文学部長から、任意の外部評価の受審時期について、機関別認証評価の前年に受審となっているが、そこで何か課題が判明した際に機関別認証評価までに改善した上で、それを検証することまでは対応が間に合わないのではないかとの意見があり、藤原副学長から、機関別認証評価の評価項目が明らかになってから任意の外部評価を受審する方が良いと考え、今回の提案としているものだが、今後検討していきたいとの説明があった。

- 1 1. 第3期中期目標期間終了時評価結果（案）について
企画課長及び榎本理事から、資料15-1～15-2により報告があった。
- 1 2. 令和5年度会議の開催日程について
総務課長から、資料17により報告があった。
榎本副学長から、令和5年度の教育研究評議会について、奈良教育大学と奈良女子大学で同日開催の場合、両大学共通の報告内容は、前後の時間を共有して教育研究評議会と別で情報交換会として実施することはいかがかとの意見照会があり、高田評議員から、枠組みを整理する必要があるが、両大学の意見交換の場ができることは有益である旨の意見があった。また、学長から、試みてはどうかとの発言があった。
- 1 3. 令和5年度入学宣誓式の実施形態の変更について
総務課長から、資料18により報告があった。また、文部科学省からの通知により、令和4年度卒業式についてはマスクの着用及び保護者の入構について見直しが必要であり、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を书面審議で開催する旨の報告があった。
理学部長から、入学生の保護者説明会について、コロナ禍ではオンデマンド形式で実施してきたので、令和5年度も同様に実施するよう準備しているが、その見直しもすべきかとの質問があり、総務課長より、今回の通知は式典の実施に関してであり、説明会は準備の問題もあるので現実的な対応で検討願いたいとの回答があった。
- 1 4. 令和5年度連携開設科目実施要項について
学務課長から、資料19により報告があった。
- 1 5. 関西財界セミナー賞2023「輝く女性賞」の受賞について
藤原副学長から、資料20により報告があった。
- 1 6. LMS利用者アンケート結果について
西村副学長及び遊佐副学長から、資料21-1～21-4により報告があった。
- 1 7. 各室等からの報告について
なし
- 1 8. その他
人事課長から、3月3日に開催されるハラスメント防止研修の周知及び受講の依頼があった。

以上